

子どもの目 子どもの心

先日の人権に関わる参観授業で、3年生は「おとなりの国の遊びを知ろう」を学習しました。子ども達は、韓国・北朝鮮のことで知っていることを交流し、日本の蹴鞠に似たチェギを作って遊んだり、ハングル文字で自分の名前を書いたりして、お隣の国の生活や文化に触れました。

～子ども達の感想より～

- ・ チェギという遊びがあるのを知りました。チェギのリフティングが楽しかったです。
- ・ 韓国には、たくさんの種類の食べ物があるのでびっくりしました。その中にわたしがいつも食べているものもありました。
- ・ 日本人と韓国人は、顔がよく似ているということは知っていましたが、他にも似ているものがたくさんありました。
- ・ チェギを作って遊んでみたけど、なかなか上手にできなくて難しかったです。
- ・ 自分の名前をハングル文字で書くと、おもしろい形でした。もっといろいろな言葉をハングル文字で書きたいです。
- ・ ハングル文字はすごくややこしかったです。チェギは楽しい遊びだなと思いました。韓国にいつか行ってみたい。
- ・ チェギで遊んでみたら、とても難しかったです。お隣の国の遊びをもっと知って遊んでみたいです。

日本の社会には、残念なことです。今なお近隣アジア諸国などの人々を軽視したり、蔑視したりするなどの意識が少しあります。とりわけ、在日韓国・朝鮮人に対しては歴史的背景などから、民族的な偏見や差別が根深いように思います。国際化が著しく進む今、それぞれの民族・国の文化や伝統を価値あるものとして、互いに認め合うことがさらに望まれます。これからも、いろいろ学習する中で、一人ひとりを認め、ともに生きていくことの大切さを学んでほしいと思います。